

令和 5 年（2023）年度

東京ロータリークラブ



みんないきいきプロジェクト報告書

特定非営利活動法人

ジョブコーチ・ネットワーク

ご挨拶

「みんないきいきプロジェクト」を通して、ジョブコーチの普及・発展に多大なご支援を頂き、誠にありがとうございます。東京ロータリークラブの皆様、心より御礼を申し上げます。

「みんないきいきプロジェクト」は令和4年度にスタートしましたが、令和4年度は年度後半からの実施でしたので、1年間を通して活動をさせて頂いたのは、今年度が初めてとなります。今年度は次ページのように「若手ジョブコーチリーダー奨学金」、「企業内ジョブコーチの学びと交流の支援」、「アジアのジョブコーチ交流事業」、「働く障害者のTボール交流大会の開催」、4つのテーマで事業を行わせて頂きました。いずれも障害のある人が当たり前に社会の中で働くことができる共生社会の実現をテーマにしたものです。

今年度の活動全体を通して、どの事業においても、参加した方々の熱意、交流、高揚感、次への期待等から、「みんないきいき」のネーミングに相応しい内容になったという手ごたえを感じています。プロジェクトが一方向的に何かを提供するのではなく、プロジェクトが機会を準備することで、相互交流、情報交換、そして新たな出会いと切磋琢磨の関係性が生まれることを実感しています。そのような関係性が、ジョブコーチを学ぶ学生と卒業生の間、企業内ジョブコーチの間、アジアのジョブコーチの間、そして働く障害のある人の間に広がっていく確かな感覚を得た令和5年度の事業でありました。単年度ではなく、継続的にご支援を頂けることで、土台作りと将来に向けての積み重ねを意識してプロジェクトを進められることを有難く思います。

雇用率が引き上げられる中、障害者雇用が単なる数値の達成にならないよう、障害のある人がいきいきと働き、企業に貢献し、働き甲斐と充実感を持って就労継続ができるよう、黒子となって種々の調整を行うジョブコーチの存在は益々重要性が増しております。公的事業や形の決まった研修ではない、隙間を埋める潤滑油になるような活動を続けて参りたいと思いますので、引きつづきよろしくお願い致します。

特定非営利活動法人ジョブコーチ・ネットワーク

理事長 小川浩

みんないきいきプロジェクトの事業概要

事業名	Key Concept	2030 目標
若手ジョブコーチリーダー 奨学金	JC を目指す大学生の増加、 奨学金を受けた若手 JC の つながりとモチベーションの 向上	JC 養成を行う大学が 4 校に増加。 年に 30 人が大学のジョブコーチ 養成課程を修了 2030 までに 80 人の大卒 JC を 輩出する
企業内ジョブコーチの 学びと交流の支援	質の高い障害者雇用に取り 組む企業のつながり、人材 のつながりを作る	年に 1~2 回ずつ、企業内 JC 交流 セミナーを開催 企業内ジョブコーチによるネットワ ークが構築される
アジアのジョブコーチ 交流事業	次世代のアジアの障害者雇 用・就労支援のリーダーの育 成 顔が見える国際的ネットワ ーク	年に 1~2 人、延べ 20 人が来日し て研修を実施 日本を中心にアジアのジョブコーチ のネットワークが構築される。
働く障害者の T ボール交流大会の開催	働く障害のある人同士の交 流、学生との交流、元気を応 援	200 人×年 1 回×8 年 1600 人 の参加 障害のある人と若手ジョブコーチリ ーダー候補者の交流機会になる

1 若手ジョブコーチリーダー奨学金

<事業計画>

誰もがいきいきと働ける社会を支える専門人材の育成支援を目的に、高等教育機関でジョブコーチを学び、障害者雇用及び就労支援の分野に進む学生に奨学金を支給する(1人につき7万円)。令和5年度現在、高等教育機関でジョブコーチ養成を行っているのは大妻女子大学ジョブコーチ養成課程のみで、卒業生は5名を予定している。また、高等教育機関でジョブコーチを学んだ人々に継続的に研修機会を提供すると共に、ネットワークを形成することを目的に交流研修会を開催する(10万円)。これらに関わる事務費5万円を予定する。

<実施報告>

令和6年3月に、大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科ジョブコーチ養成課程を5名が卒業し、全員が特例子会社の企業在籍型ジョブコーチとして就職しました(花椿ファクトリー株式会社1名、NRI みらい株式会社1名、トーマツチャレンジド株式会社2名、第一生命チャレンジド株式会社1名)。卒業と同時に社会福祉士または精神保健福祉士の国家資格に合格した者は2名であったため、「卒業年次の3月末において、ジョブコーチ養成研修課程を修了し、且つ、社会福祉士又は精神保健福祉士の国家試験に合格している者を対象とする。」の規定により、奨学金の該当者は2名となりました。1人につき7万円の奨学金を2名に対して支給しました。

また、令和5年12月2日に、大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科ジョブコーチ養成課程1期生と2期生の交流会を開催しました。1期生2名、2期生3名が参加し、新卒でジョブコーチとして働く際に抱える不安や困難、所属機関によつての役割・業務範囲の違い等について情報交換を行い、相互にモチベーションを確認し、励まし合う機会となりました。

尚、みんないきいきジョブコーチ奨学金については、令和4年度と令和5年度の実績を踏まえ、令和6年度からは、規定第3条の「ジョブコーチ養成研修課程を修了し、且つ、社会福祉士又は精神保健福祉士の国家試験に合格している者を対象とする。」の部分で「ジョブコーチ養成研修課程を修了し、且つ、障害者雇用または就労支援の領域に就職する者を対象とする」に変更をさせて頂きたいと思います。



ジョブコーチ養成課程 1 期生と 2 期生の交流



大学を卒業して障害者雇用・就労支援の領域で働いている人の交流会

2 ジョブコーチ同士の学びと交流の支援

<事業計画>

企業内ジョブコーチ交流セミナーを2回開催する(令和5年12月、令和6年6月、計2回開催予定)。各回につき、対面参加50人程度、オンライン参加100人程度を想定。

<実施報告>

第1回は、令和6年1月20日(土)13:00~16:00に、「アセスメントを考える(その1)~採用時のアセスメント~」をテーマに開催しました。会場の都合により対面は24人で満員御礼となり、オンラインには60人の参加がありました。当日は、東京ロータリークラブ様より、筑紫勝磨様、鈴木信吉様、長谷川寛様ご参加下さり、筑紫勝磨会長に開会の御挨拶を頂きました。



東京ロータリークラブ協賛「みんないきいきプロジェクト」

企業内ジョブコーチ 交流セミナー

1月20日（土）13:00-16:00



研修テーマ

アセスメントを考える（その1）
～採用時のアセスメント～

ジョブコーチの方法論では、アセスメントに基づいたジョブマッチングの重要性が言われていますが、現実にはどのような取り組みがなされているのでしょうか。2つほど、現場の実践を紹介して頂き、その後、参加者どうしで、就労支援からどのようなアセスメント情報を得ているのか、企業としてどのようなアセスメントを行っているのか、等について情報交換をして頂きます。

スケジュール

- 13:00~13:10 開会の挨拶・オリエンテーション
- 13:10~13:40 障害者雇用におけるアセスメントのおさらい
小川浩
- 13:40~14:30 実践紹介
 - 1. 就労支援側 より
 - 2. 企業側 より
- 【以下、対面参加者のみ】
- 14:40~15:45 グループディスカッション
- 15:40~16:00 全体のまとめ
- 16:00~17:00 懇談会



研修概要

対象 企業在籍型ジョブコーチ養成研修修了者、企業の障害者雇用担当者

定員 ・会場での対面参加 35名
・オンライン 100名
(リアルタイム・オンデマンド計)
※ 講義・実践報告のみ
※ 配信期間1月22日～1月31日
※ いずれも先着順 となります。

参加費 ・無料

会場

- 大妻女子大学千代田キャンパスG棟311教室
〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地
- アクセス
JR総武線「市ヶ谷駅」、都営新宿線、
東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」
(A3出口) から徒歩10分
都営新宿線、東京メトロ東西線・半蔵門線
「九段下駅」(2番出口) から徒歩12分
東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」
(5番出口) から徒歩5分

×切 ×切：1月12日（金）
※定員になり次第×切

方法 QRコードを読み取り
必要事項を記入の上お
申し込みください。

<https://forms.gle/aJSg69Pxkhi7k6o19>



主催：NPO法人ジョブコーチ・ネットワーク
協賛：東京ロータリークラブ
：全国ジョブコーチ連絡協議会
E-MAIL: s-osamu@kurasigoto.jp
TEL: 090-1982-7175(担当 鈴木)

第2回は、令和6年6月20日(土)14:00～17:30に「大学と企業を結ぶ～定着を見据えた新卒採用のノウハウ～」というテーマで開催しました。雇用率が高まる中、より多くの障害者雇用を求められる企業と、障害のある学生の就職支援に課題を抱える大学の交流機会を設け、今後、インターンシップなどの活性化につなげようという企画です。双方のニーズは高く、対面76名、オンライン75人の参加者があり、積極的な意見交換と交流が行われました。



「ジョブコーチ同士の学びと交流の支援」でこれまで3回開催した企業内ジョブコーチ交流セミナーは、第1回から第3回で計382名のご参加を頂き、ニーズが高いことが確認されています。各回の講義をいつでも見れるようにオンデマンドで視聴したいという要望も多く、今後回数を重ねる中で、講義動画は貴重な学習コンテンツになっていくと考えられます。そこで、特設HPを設定し、今後の企業内ジョブコーチ交流セミナーに関する広報、講義の動画配信、資料のダウンロード等、管理の一元化を行うことに致しました。

東京ロータリークラブ協賛「みんないきいきプロジェクト」
第3回企業内ジョブコーチ交流セミナー

大学と企業を結ぶ

～定着を見据えた新卒採用のノウハウ～

6月26日(水) 14:00-17:30



開催目的

NPO法人ジョブコーチ・ネットワークは、東京ロータリークラブ様のサポートを受け、ジョブコーチの人材育成に焦点を当てた「みんないきいきプロジェクト」に取り組んでいます。その一環として、「企業内ジョブコーチ・交流セミナー」では、企業内ジョブコーチ養成研修を修了した方や企業の障害者雇用担当者を対象に、実践のノウハウを共有し、ネットワークを形成する機会を提供します。

研修テーマ

雇用率が引き上げられる中、大学の新卒採用（障害者雇用）が注目されています。しかし、大学新卒者の場合、職業経験が乏しい中での選択になるため、障害認識及び自己理解、職業適性等を含めたマッチングが一層重要になると考えられます。今回のセミナーでは、大学の新卒採用をめぐる状況を整理した後、①企業側の採用事例、②大学側の送り出し事例、③グループワークを通して情報交換を行うことで大学側、企業側双方の関係構築の機会になればと思います。セミナー後には懇親会もありますので参加者同士の交流も可能です。

スケジュール

- 14:00-14:10 開会の挨拶
- 14:10-14:35 全体状況の説明
株式会社エンカレッジ 窪貴志氏
- 14:40-15:05 企業の採用事例1
株式会社マイナビパートナーズ 藤本雄氏
- 15:10-15:35 企業の採用事例2
株式会社LIXIL Advanced Showroom 八重樫 祐子氏
- 15:40-16:05 大学の送り出し事例
大妻女子大学 若尾翠氏

【以下、会場参加者のみ】

- 16:15-17:00 グループディスカッション
- 17:00-17:15 まとめ
- 17:15-17:30 名刺交換会
- 18:00-20:00 懇親会（自由参加）



研修概要

対象

- 企業で障害者雇用に関わっている方（企業の種別を問わず）
- 大学で障害学生・グレーゾーン学生の就職支援、障害学生支援に携わっている方

定員

- 会場での対面参加 80名
- オンライン 100名（リアルタイム・オンデマンド計）
- ※ 講義・実践報告のみ
- ※ 配信期間 7月1日～7月10日
- ※ いずれも先着順 となります。

参加費

- 無料

会場

- 大妻女子大学千代田キャンパス E棟454教室
- 〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地
- アクセス
- JR総武線「市ヶ谷駅」、都営新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」(A3出口)から徒歩10分
- 都営新宿線、東京メトロ東西線・半蔵門線「九段下駅」(2番出口)から徒歩12分
- 東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」(5番出口)から徒歩5分

※切

※切：6月17日（月）
※定員になり次第※切

申込方法

QRコードを読み取り
必要事項を記入の上お
申し込みください。

<https://forms.gle/aJSg69Pxxhi7k6o19>



主催：NPO法人ジョブコーチ・ネットワーク
協賛：東京ロータリークラブ
：全国ジョブコーチ連絡協議会
E-MAIL: s-osamu@kurasigoto.jp
TEL: 090-1982-7175(担当 鈴木)

3 アジアのジョブコーチ交流事業

<事業計画>

タイ及びモンゴルの障害者雇用企業、就労支援事業所との交流を行う。

1. タイの NGO と連携し、タイ・バンコクにおいてジョブコーチ養成研修(3 日間、受講者 50 人)を開催し、ジョブコーチの方法と技術をタイの人々と共有する。
2. モンゴルのジョブコーチ実践者を日本に招待し、就労移行支援事業所、ジョブコーチ支援、特例子会社等において短期研修を行う。

<実施報告>

1. タイにおけるジョブコーチ養成研修

令和 5 年 7 月 30 日～8 月 4 日、NPO 法人ジョブコーチ・ネットワークの小川浩、酒井大介、若尾勝己の 3 名がタイ・バンコクにおいて、タイの NGO ワークアビリティ・タイランドと連携し、特別支援学校教員を対象に、ジョブコーチ養成研修入門編(20 名受講)を開催しました(7 月 31 日事前研修、7 月 1 日～2 日研修実施)。この研修では、JC-NET が日本国内でジョブコーチの入門研修として用いているプログラムを実施すると共に、今後タイのスタッフが講師・トレーナーを担えるよう、事前研修と事後のスーパービジョンを通して講師・トレーナーの人材育成と、研修実施に関わる技術移転を行いました。また、タイで障害者雇用を積極的に行っている企業を訪問し、見学と意見交換を通して、今後の我が国の障害者雇用企業との交流可能性を開拓しました。



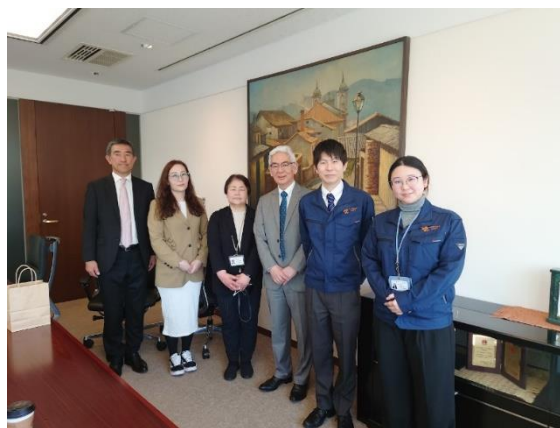


2. モンゴルからの招聘

令和6年3月3日～3月16日、モンゴルの自閉症支援施設で就労支援を行っているオソル・ジャラムさんを招聘し、日本のジョブコーチ支援機関、障害者雇用企業等において実地の研修を行いました。オソル・ジャラムさんは、JICAのプログラムの下で日本のジョブコーチ養成研修を修了し、モンゴルにおいてジョブコーチ支援を積極的に行っている実践者です。埼玉のNPO法人東松山障害者就労支援センター、東京のNPO法人Wel's 東京、特例子会社サンキューウイズ等での実習及び見学、大妻女子大学等での研修及び意見交換を行いました。3月8日には我が国のジョブコーチの大規模なセミナーである Conference of Employment First(CEF:質の高い障害者雇用を考える会議)にてモンゴルの実践を発表し、日本の障害者雇用・就労支援関係者との交流を行いました。また、3月13日には東京ロータリークラブの例会に参加させて頂き、会場で皆様にご挨拶をさせて頂くことができました。3月14日には東京ロータリークラブのご紹介で、山九株式会社の特例子会社であるサンキュー・ウイズを見学させて頂き、東京ロータリークラブの鈴木信吉様、株式会社山九会長の中村公一様、株式会社サンキューウイズ社長の小早川美智子様と懇談を

させて頂き、日本は企業がジョブコーチを配置して積極的に障害者雇用を進めている現状を学ぶ機会となりました。

障害者雇用・就労支援の現場で OJT を受けたことについて、オソル・ジャラムさんは、「あまりの学びの多さにただ興奮しています。今回の経験を必ず、モンゴルの実践に役立てていきたいと思います。このような機会を与えて下さった東京ロータリークラブ様に心から感謝します。」と述べていました。今後、モンゴルで障害者雇用・就労支援を発展させていくリーダーとして、一層の活躍が期待されます。



働く障害者のTボール交流大会の開催

<事業計画>

特例子会社で働く障害のある人のための余暇活動イベントとして、高等教育機関でジョブコーチを学ぶ学生有志が実行委員会を形成し、Tボール交流大会を開催する。

<実施報告>

大妻女子大学多摩キャンパスにおいて、令和5年10月29日(日)9:00～16:00、働く障害者のスポーツイベントとしてTボール交流大会を開催しました。参加企業は、(株)ビジネスプラス、(株)ベネッセビジネスメイト、(株)富士電機フロンティア、ゆうせいチャレンジド(株)、東電ハミングワーク(株)、オリンパスサポートメイト(株)、(株)キューピーあいの7社。それに東京都立青鳥特別支援学校高等部を加え、全部で8チームが出場。約300人の選手や応援の人たちが集いました。ジョブコーチ養成課程の学生による実行委員会が運営を行うと共に、人間関係学部の学生が各チームに入ってプレーや応援を一緒に行った他、チアリーディング部が昼食時間に演舞を行って大会を盛り上げました。



東京ロータリークラブ助成事業収支報告書

(R5年7月～R6年6月末)

NPO 法人ジョブコーチ・ネットワーク

項目	内訳	金額
東京 RC 助成事業	・ 令和 5 年 7 月～R6 年 6 月末 助成分収入	2,860,000

項目	内訳	金額
①若手 JC リーダー奨学金事業	・ 奨学金 @70,000 円×2 名	140,000
	・ 上記支払手数料 @605 円×2 名	1,210
	①小計	141,210
②ジョブコーチ同士の学びと 交流の支援事業 (令和 5 年 1 月 20 日、令和 6 年 6 月 26 日、2 回分)	・ 会場費	86,064
	・ 講師謝金・交通費 (3 名分)	90,432
	・ 当日受付・案内等アルバイト謝金	22,000
	・ 講師・スタッフ弁当代	15,126
	・ テキスト等印刷製本	35,930
	・ 撮影・オンライン配信費	300,000
	・ 広報・受付・資料編集等事務委託費	150,000
	・ 消耗品・雑費	8,902
	・ 懇親会費	80,000
	・ 支払手数料	1,815
	・ 専用 HP 設置・動画ライブラリー製作費	200,000
	②小計	990,269
③アジアのジョブコーチ 交流事業	・ タイ JC セミナー対応・視察旅費	377,939
	・ モンゴル研修生渡航費 (航空・宿泊)	265,266
	・ モンゴル研修生の同行スタッフ交通費 (2 名分)	55,809
	・ モンゴル研修生生活動手当 (4,000 円×13 日)	52,000
	・ 通訳謝金 (13 日間)	130,000
	・ 通訳交通費	25,401
	・ 支払手数料	1,925
	・ モンゴル研修生との 交流会費	35,594
	・ モンゴル研修生移動交通費 (東京分)	6,000
	・ 手土産・昼食代 (東京分)	10,044
	・ モンゴル研修アテンド 13 日	130,000
	・ モンゴル研修コーディネート業務費	130,000

	③小計	1,219,978
④働く障害者の T ボール交流大会の開催	・ T ボール大会審判謝金	66,000
	・ 大会関係者昼食費	36,000
	・ 大会関係者お茶代	42,640
	・ 大会 T シャツ製作費	42,900
	・ 支払手数料	2420
	④小計	189,960
支出計		2,541,417
⑤次年度繰越金		318,583
①②③④ + ⑤ =		2,860,000